

令和7年度学校評価アンケート(結果)

		質 問	対象	比率				1:できていると思う 3:どちらかというときていると思わない	2:どちらかというときていると思う 4:できていると思わない
				1	2	3	4		
知	設問1 子どもが本気になる授業 (問題解決的な授業の実践の成果)	あなたは、不思議に思ったことやもっと知りたいと思ったことを、考えたり調べたりする授業が好きですか。	児童	40%	49%	10%	2%		
		子どもたちは、問題を解決するために、考えたり調べたりするなど、主体的に学習に取り組む姿が見られますか。	教職員	16%	72%	3%	4%		
		お子さんは、わからないことを自分で考えたり調べたりしようとする姿がみられますか。(家庭の様子で)	保護者	26%	42%	27%	5%		
知	設問2 聞く力・話す力の基盤を育てるグループ活動(グループ活動を行う際の支援とその活かし方の成果)	あなたは、授業の中で、友達の考えを聞いたり、自分の考えを話したりするなど、話し合いに取り組めていますか。	児童	47%	37%	13%	2%		
		子どもたちは、授業の中で、友達の考えを聞いたり、自分の考えを話したりするなど、話し合い活動に取り組めていますか。	教職員	24%	64%	8%	4%		
		子どもたちは、授業の中で、友達の考えを聞いたり、自分の考えを話したりするなど、話し合い活動に取り組めていますか。(授業参観等で)	保護者	35%	49%	13%	3%		
徳	設問3 「夢デザインプロジェクト」を軸に据えた授業(6年間のつながりを意識した教育活動の展開の成果)	あなたは、大きくなってからのことを考えたことがありますか。(例:「つきたい職業」「なりたい大人」「やりたいこと」など)	児童	57%	32%	9%	3%		
		子どもたちは、将来なりたい自分の姿がえていますか。(例:「つきたい職業」「なりたい大人」「やりたいこと」等)	教職員	4%	56%	36%	4%		
		子どもたちは、将来なりたい自分の姿がえていますか。(例:「つきたい職業」「なりたい大人」「やりたいこと」等)	保護者	21%	38%	28%	13%		
	設問4 互いのよさを知る「お話あのね」(自他のよさを知る機会の設定の成果)	あなたは、自分や友達のよいところを見つけるように心がけていますか。	児童	50%	38%	10%	2%		
		子どもたちは、自分や友達のよいところを見ようとする姿が見られますか。	教職員	40%	52%	8%	0%		
		お子さんは、自分や友達のよいところを見ようとする姿が見られますか。	保護者	44%	44%	9%	2%		
	設問5 心を育てる縦割り班活動(高学年としての自覚を持たせることや、低学年が高学年へのあこがれを抱く場の設定の成果)異学年交流	あなたは、「児童集会」(委員会の発表など)や「縦割り班活動」が楽しいですか。	児童	65%	25%	7%	3%		
		子どもたちは、「児童集会」(委員会の発表など)や「縦割り班活動」に意欲的に参加していますか。(低学年は楽しんで・高学年は企画や運営する立場で)	教職員	24%	56%	20%	0%		
		お子さんは、「児童集会」(委員会の発表など)や「縦割り班活動」を楽しみにしていますか。	保護者	57%	37%	4%	3%		
体	設問6 体力向上を目ざした子ども主体の活動(子どもの意識を高め外遊びを活性化させることの成果)	あなたは、外で遊んだり、運動したりしていますか。	児童	55%	22%	12%	11%		
		子どもたちは、外で遊んだり、運動したりすることに意欲的ですか。	教職員	36%	52%	12%	0%		
		お子さんは、外で遊んだり、運動したりすることに意欲的ですか。	保護者	52%	25%	17%	6%		
	設問7 心と身体の健康を維持する保健指導(計画的な保健指導により自分を見つめる機会に出会わせることの成果)	あなたは、健康に気をつけて生活をしていますか。	児童	51%	34%	12%	3%		
		子どもたちは、健康を意識して生活できていますか。	教職員	4%	76%	16%	4%		
		お子さんは、健康を意識して生活できていますか。	保護者	33%	45%	20%	3%		
地域	設問8 地域の教育力の活用と積極的な情報発信(ひと・もの・ことを計画的かつ有効に活用することの成果)	地域のかたから学んだり助けてもらったりすることは自分の勉強に役立っていますか。(例:校外学習・授業のお助け・おはなし会・クラブ・夢ワーク等)	児童	53%	33%	12%	3%		
		学校では、地域の「ひと・もの・こと」を教育活動に取り入れ、有効に活用できていますか。(例:校外学習・授業のお助け・おはなし会・クラブ・夢ワーク等)	教職員	56%	44%	0%	0%		
		学校では、地域の「ひと・もの・こと」を有効に活用できていますか。(例:校外学習・授業のお助け・おはなし会・クラブ・夢ワーク等)	保護者	65%	30%	5%	1%		

結果の分析

<p>設問1</p> <p>興味をもったことを調べたり考えたりすることが好きな子どもが多く、教職員もおおむね多くの子どもが主体的に取り組んでいると答えている。保護者の肯定的な回答がやや低いことから、今後、学校で身についた習慣や態度が、日常生活でも活かされるようにしたい。</p> <p>設問2</p> <p>児童・教職員・保護者ともに8割が「できている」「どちらかというときている」と回答しているため、グループ活動に取り組めていることがわかる。今後、グループ活動で身についた話す力・聞く力を全体での話す力・伝える力に育てていく必要がある。</p>
<p>設問3</p> <p>児童は8割以上が「できている」「どちらかというときている」と回答し、子どもたちの多くは将来のことを考えていることがうかがえる。保護者・教職員の肯定的な回答は6割台にとどまっている。大人が、日常の会話の中で、将来のことについて話題にする機会を増やすことで、子どもの思いを受け止めたい。</p> <p>設問4</p> <p>児童・教職員・保護者とも、肯定的な回答が9割近くであることから、多くの子どもが、自分や友達のよいところを見ようとしていることがわかる。今後も、さまざまな機会を通じて、心を育てていきたい。</p> <p>設問5</p> <p>児童、保護者ともに肯定的な回答が9割を超えていることから、多くの子どもが、異学年交流の取り組みを楽しみにしていることがわかる。地域のかたも異学年交流をあたたく見守ってくださっている。行事や集会を通して高学年が主体的に取り組む姿を見せることで、低学年が安心して学校生活を送ることができると同時に高学年になったときの姿につながると考える。</p>
<p>設問6</p> <p>児童は8割が「できている」「どちらかというときている」と、肯定的な回答が多く見られる。今後さらに、子どもたちが運動に意識を向けるような、学校行事や場の設定、環境の整備を行っていくことが必要だと考える。</p> <p>設問7</p> <p>児童、教職員、保護者ともに8割近くが「できている」「どちらかというときている」と、肯定的な回答が見られる。多くの子どもが健康に気をつけて生活できるようになってきたことの表れかと捉える。今後も学校保健活動を継続し、健康への高い意識を継続していきたい。</p>
<p>設問8</p> <p>児童、教職員、保護者ともに高い割合で、「できている」「どちらかというときている」と、肯定的な回答が得られた。多くの地域のかたに支えていただき、子どもや教職員も、より充実した学習活動が行えたと感じていることの表れと捉える。</p>

